

# 徳山高専だより

National Institute of Technology, Tokuyama College

2020年度

No.74



特集

コロナと

どう立ち向かったか？



02 巻頭言

03 コロナとどう立ち向かったか？

08 徳山高専ぞくぞくリニューアル中

10 Look Back 2020

14 徳山高専生の挑戦！継続は力なり

18 令和2年度就職・進学状況

19 今年の就職・進学状況

21 わたしの就職進学STORY

25 コロナ禍でもキャリア教育支援プログラム

26 国際交流活動報告

27 高城寮より

29 学生会活動

31 留学生だより

32 退職教職員から

33 高城会より／編集後記

巻頭言

# 加速する高専教育のDX推進



徳山工業高等専門学校 校長  
勇 秀憲

2020年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)一色であった。その脅威は2021年1月の今も世界中で続いている。本校では、学生と教職員の健康と生命を守る「安全と安心」を基本方針とし、「徳山高専における新しい行動基準」「学校再開ロードマップ」「課外活動ガイドライン」「徳山高専COVID-19対策基本方針」を取りまとめ、「学びを止めず」質保証を目指して学校活動を継続してきた。

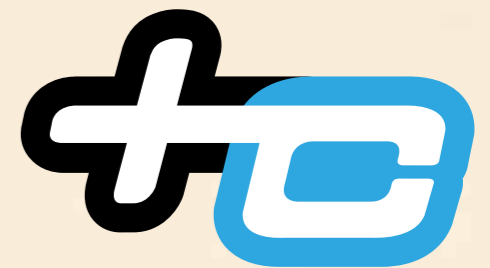
緊急事態宣言のもと4月臨時休校後、オンライン(以下、OL)授業を始めた。地域の感染状況や通学手段、学生寮などにより、登校方法(学生在宅、分散登校、半数登校、全数登校)と授業形態(対面授業、OL授業)を段階的に変更し、現在は全数登校での対面授業(一部OL授業)としている。課外活動や学生寮での対応も同時に進めてきた。

高専機構MCC(注)に準拠し、授業内容の精選・順序変更、授業方法や評価方

法の工夫・変更、開講時期(前期・後期)の変更などを行った。OL授業と対面授業を同時に行う「ハイフレックス授業」や3クラス合同OL授業などの新しい授業形態も実践している。知識・スキルの定着や授業への参加モチベーション向上などのためのICT活用は当然のこととして、リアルタイム/オンデマンドでの教材の有効活用や授業の録画配信なども効果的であることが分かった。学生と教員の双方向コミュニケーションやグループワークの実践やOL授業と対面授業を組み合わせた「ハイブリッド授業」も進んでいる。

学生への数回の授業アンケート結果から、①課題の多さに学生は負担を感じているもの(教員は少しずつ課題を減らしている)、②教員の授業でのフィードバックは十分に行われており、③OL授業は対面授業と同等に有効に実施され、④授業に対する疲労度も時期の経過とともにかなり低下している。

学校生活における授業、研究、課外活



徳山高専

National Institute of Technology,  
Tokuyama College

## はなれていても心はひとつ!

表紙は、コロナ禍の中でも「できない」ではなく、「どうやったらできるか」を考え、学生会が中心となり企画・運営したクリスマスイベントの様子です。教室管理棟の前に設置したメインステージから各教室に映像配信する形で開催しました。中庭にはクリスマスイルミネーションやランプを設置し、クリスマスイベントを盛りあげました。(撮影:写真部)

### 5つのC

1. **C**reation / 創造
2. **C**hallenge / 挑戦
3. **C**ooperation / 協働
4. **C**ommunication / コミュニケーション
5. **C**ritical thinking / 批判的思考

(注)高専機構MCC:  
国立高専における教育の質を保証し、高専の全学生が到達すべき目標としての最低限の能力水準と具体的な修得内容を示す「コア」と、高専教育のより一層の高度化を図るための指針となる「モデル」を示したもの。国立高等専門学校機構モデルコアカリキュラム(Model Core Curriculum)。  
[https://www.kosen-k.go.jp/about/profile/main\\_super\\_kosen.html](https://www.kosen-k.go.jp/about/profile/main_super_kosen.html)

動や何気ない日々の場面で、学生同士、学生と教職員などが対面で接することは決して欠かすことはできない。この貴重なOL授業の経験から、ICTをより積極的に活用した対面授業、OL授業やそれらを組み合わせた多様な授業形態を学生主体の視点で創っていかなければならない。

「新しい生活様式」により、授業、授業管理やホームルームのほか、学内会議やオープンキャンパス、企業研究会、国際交流、高専祭、教職員のリモート勤務など教育研究活動全般におけるDX(デジタル・トランスフォーメーション)が一気に加速している。本校が取り組んできた「学習者主体」の教育改革(A.P事業「卒業時における質保証の取組の強化」、高専機構MCC推進事業など)の実質化を進める中で、教育のDX進展により学生一人ひとりに対し質保証された高専教育が一層進化できるに違いない。

# コロナとどう向き合ってきたか？

## 学びを止めない。新型コロナウイルスとともに

副校長 教務主事

西村 太志

### 学校の取り組み

2020年1月に、中国武漢で新種のコロナウイルスが確認されて以来、我々は新型コロナウイルスがもたらす未曾有の驚異の真つ只中にいます。

日本においては、3月に感染拡大の第一波が発生し、4月から6月の緊急事態宣言を経て収まりましたが、経済活動の段階的再開とともに、東京を主な起点とした感染の第二波が7月初めに発生しました。この第二の感染拡大のうねりは、10月に一定の収まりを見せつつありましたが、気温が下がってきた11月以降、感染拡大のペースが速くなり、新規の感染者数や重症患者数は第二波のピークを超え、感染の第三波と言われるようになってきました。そして、2021年1月7日、遂に、東京、埼玉、千葉、神奈川県の一部三県を対象に緊急事態宣言が発出されました。

そのような状況の中、私たちは感染拡大を防ぎながら生活し、この感

染症と共存して生きていかなければなりません。ここでは、本校がこれまでに取り組んできたことを振り返り、今後の本校の教育のあり方について考えてみたいと思います。

2020年2月27日に、全国の小中学校に臨時休校要請の考えが公表されました。本校はすでに学年末休業に入っていたため、2019年度の授業等には影響がありませんでしたが、卒業式中止せざるを得ませんでした。新年度に入り、新入生、教員限定での入学式を4月5日に挙行しましたが、三密を避け、リスクをいかに軽減するか検討した結果、休業期間を延長し、5月10日までの一ヶ月あまりを臨時休業とし、前期開始を5月11日に決定しました。この時は、まだ多くの人が、コロナウイルス感染症は早期に終息し、元の生活に戻るものと考えていました。

そのような状況の中、本校では新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応する基本方針として、次の三項

目を定めました。

- ① 学生と教職員の健康と生命を守る、すなわち「安全と安心」を最優先事項とする。
- ② ①のもとで、「学びを止めない」準備をし、学生に教育活動を提供する。
- ③ ①のもとで、研究活動を継続する。

本校のこれまでの施策は、全て前記①②③の基本方針に沿って決定してきており、今後もその基本方針に変更はありません。

4月16日には緊急事態宣言が七都道府県から全国に広げられ、山口県でも、周南市、下松市、光市、岩国市等において感染者が確認されたことから、学校再開後は、対面授業ではなく、全面的にICTを活用したオンライン授業を実施することにしました。学内では、教員対象に開催した、オンライン授業を実施するための研

修会に、多くの教員が参加し、オンライン授業の準備をはじめました。

また、学校の再開に際しては、最初の二週間をオンライン授業サポート週間として、学生全員がMicrosoft Teams を使用してオンライン授業が受講できるように準備をした後、6月末まで、学生在宅での全授業科目のオンライン授業（リアルタイム/オンデマンド）を実施しました。5月24日からは五年生及び専攻科二年生のために、卒業研究や専攻科特別研究を許可制で登校可能としました。全授業科目のオンライン授業は学生、教員共に初めての実施であったため、二週間おきにアンケートを行い、それまでの授業を振り返り、授業中の休憩の取り方や課題の実施方法等の改善を行いました。

オンライン授業を実施しながら、学校としては、6月中旬に「徳山高専におけるNew Normal Standard(新しい行動基準)」を策定（12月24日改定）し、それに基づく「学校再開口

ドマップ」「課外活動ガイドライン」「学生寮・特別在寮」を公開しました。

**徳山高専における New Normal Standard(新しい行動基準)**

学校再開ロードマップ

課外活動ガイドライン

学生寮・特別在寮

詳しくは <http://www.tokuyama.ac.jp/newnormal.html>

5月25日に緊急事態宣言が全面的に解除され、6月19日に都道府県をまたぐ移動の自粛、イベント開催制限等が緩和されたことを受け、学校活動を段階的に再開することとし、まずは、6月19日から、土・日・祝日限定の課外活動を再開しました。そして、7月1日から8月6日まで、分散登校（希望する学生が一学年・週一回登校、寮生は特別在寮で対応）によるオンライン授業（一部対面授業）を実施しました。一年生にとっては、初めてクラスメイトと一緒に教室で受ける授業となりました。また、課外活動に関しては、土・日・祝日及び登校日の活動を再開しました。

前期開始が一ヶ月以上遅れたため、二週間程度と短くなった夏季休業の後、8月24日から9月4日まで各クラス半数登校によるハイブリッド授業（オンライン+対面授業）を実施、そして9月7日から9月30日までは、全学生登校によるハイブリッド授業（オンライン+対面授業）を実施しました。また、前期末試験は全て対面で行われました。

全学生のうち約三分の一が公共交通機関を利用して登下校していること、約120名が寮生であることから、学生と教職員の健康と生命を守る「安全と安心」を最優先した対応を取るといふ基本方針に立ち返り、後期開始の

10月5日からは、学年(クラス)により登校を分散させ、オンラインまたは対面の授業を実施しました。前期同様、後期開始二週間後に学生に対してアンケート調査を行いました。その中で、登校・在宅とオンライン・対面授業に関する調査結果の、学びやすさや学校生活全般に対する回答では、登校日を増やす希望の学生が多いが、登校日を減らす方向を希望する学生も少数いるというものでした。また、山口県においては、9月末に感染に対する一定の収束が見られ、医療機関にはまだ十分な余裕があったことから、11月16日から全学生登校に切り替えることにしました。そこでは、授業開始時刻を40分遅らせ、登校時に利用できるバスの便数を増やすことにより、バス利用の集中を回避する対応を取っています。

12月以降、大都市を中心に第三波とも言われる急激な感染が拡大しており、山口県でも感染が続いています。本校では、学生と教職員の健康と生命を守る「安全と安心」を最優先事項とし、公共交通機関での通学状況や授業時の三密を避け、現在の第三波や今後発生するかもしれない第四波にも対応できるように、地域における感染状況や学生からのアンケートなども考慮した上で、「新しい生活様式」に基づく授業形態に適宜変更していきます。

### 授業に関して

本校では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応する基本方針の②で示したように、「学びを止めない」ため、教職員はできる限りの工夫をし、学生の協力のもと、オンライン授業を実施してきました。オンライン授業で得られた知見には次のものがあります。

- 「オンライン授業」においても、教員側がしっかりと準備をし、様々なツールを適切に使用すれば、学生と教員のスムーズなコミュニケーションやグループワークが実施可能であり、予想以上の教育効果を上げることが可能でした。これは、本校を含め、様々な学校におけるアンケート調査の結果や、教育研究によりわかってきています。

- その一方で、「オンライン授業」を上手く展開できなかった授業があったことも明らかとなっています。これに対しては、学校としてより一層の教員へのサポートと授業改善を進める必要があります。
- さらに、これまでの経験を通

じて、高専教育には対面で行う部分が不可欠であることが再認識されました。特に、実験・実習等の実施に関しては、どのようにWithコロナの状況下で実現していくのか、より一層の工夫・検討が必要です。

● 今回の「オンライン授業」は新型コロナウイルスに対する対応だけでなく、これまで休校措置をとっていた自然災害時にも実施可能です。そのためには、いつでも「オンライン授業」へ対応できる教員の準備と、家庭における環境の整備を早めに行う必要があります。

現在も新型コロナウイルス感染症は感染拡大しており、今後も世界的な感染拡大があり得ることをしっかりと認識しておく必要があります。また、新型コロナウイルス感染症に対する非常に有効な治療薬やワクチンの開発が成功してもWithコロナという状況は来ない、すなわちWithコロナという状況に変化が生じないことは明らかです。従って、これからは、今までの常識では実施されなかったような教育手法が導入され、学生には、今までとは異なる「資質や能力」が

求められるようになり、それをしっかりと認識して、勉学や課外活動に励む必要が出てきます。

本校では、コロナ禍と言われる状況が収束し、Withコロナと言う状況になった時には、対面形式の実験・実習、ディスカッションやアクティブ・ラーニング等の展開と共に、充実した「オンライン授業」のコンテンツも提供しながら、本校や他校の教員が、数百人の学生に対して講義を実施する「ハイブリッド型」の授業展開を目指します。「ハイブリッド型」授業は、オンライン授業をただの対面授業の代替えとして実施するのではなく、また、オンラインと対面授業を単に組み合わせただけでもありません。「ハイブリッド型」の授業展開が進めば、オンライン学習の良さである繰り返し学習も活用しながら、個々の学生の理解度に合わせた学習の個別化と最適化を進めることも可能となります。もちろんサイバー×リアル融合DX(デジタルトランスフォーメーション)を進め、これらの「新しい教育のあり方」を検討する際には、「授業アンケート」や「談話会」(学生と教員の懇談会)等により、学生の多様なニーズを把握し、また、教員のトレーニングも十分に実施して、本校のみにとどまらず、未来のKOSEN教育としてあるべき姿をリードして探っていきます。

## 学生活動とコロナ感染症への対応

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、4月の1年生の合宿研修をはじめ、課外活動、学生会活動などあらゆる学生関係の活動に大きな影響を受けました。

その中でも課外活動は最も多大な影響を受け、高校総体などの高体連の大会、全国高専体育大会や中国地区高専体育大会をはじめとしたあらゆる体育大会が中止となり、特に高体連や高専大会が最後の大会となる予定であった3年生と5年生には非常に辛い出来事であったと思います。

課外活動が学生の成長にとって非常に有益であることは間違いなく、我々には出来る限りそのサポートをしていく必要があります。一方で、ウイルスの感染は高齢者や免疫力が低い人々への多大な脅威になることから、その方々への配慮も必要です。そのような状況の中では感染対策の考え方は人により様々であり、全員が満足する活動方針を決定することは非常に難しいことです。

本校では、COVID-19感染拡大に対して「安全と安心」を最優先事項とするという基本方針に沿って、近隣の小中高、高専、大学などの教育機関などの状況も注視しながら、課

外活動の実施に関する方針を定められました。

4月から全面禁止をしていた課外活動の再開にあたっては、6月に学生の皆さんの健康確保を最優先とした感染拡大防止のための対策を定め、活動における人数の制限、活動時間、活動方法などについて段階的なステップを踏んだ「徳山高専課外活動ガイドライン」を策定し、まずは土日・祝日の活動に限定した活動を許可しました。次に、分散登校が始まった7月からは、登校学生に限り平日(登校日)の活動も認めてきました。その後、夏季休業期間を経て8月下旬の半数登校時からは、登校学生に限り原則として平日4日間(18時45分下校)、土日のいずれか一日(3時間以内)の活動日の設定を行い、後期からの半数登校に至っています。

その間、学生や保護者の皆様には、クラブ活動参加に係る同意書の提出や保護者による送迎など登校時の三密を避けるような工夫のお願いをしてきました。また、現在も指導教員から提出されている課外活動指導計画および活動報告により学生の活動状況の把握も行っているところです。

次に、学生会活動に関しては、通

## ハイブリッド型授業：三つのタイプ

<p><b>ハイフレックス型</b></p>	<p><b>同じ内容の授業を、面接(対面)とオンラインで同時に行う授業方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生が自由に選択</li> <li>● どちらでも同じ質の授業</li> <li>● 同時に両方を考慮(高難易度)</li> </ul>
<p><b>ブレンド型</b></p>	<p><b>対面とオンラインを、教育効果を考えて組み合わせる授業方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「モジュール型アクティブラーニング」や「反転授業」はこの1形態</li> <li>● クォーター制等と組み合わせることにより集中的な学習が可能</li> </ul>
<p><b>分散型</b></p>	<p><b>同じ回に異なる内容の授業を対面とオンラインで実施し、学生は分散して受講</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 主に人数制限のための対応</li> <li>● 複数回実施等による負荷増</li> </ul>

学生主事

櫻本 逸男

常であれば6月に学生会総会が開催されるはずでしたが、今年度はオンライン形式で8月後半に評議委員会、9月に入って学生会総会が実施されました。初めての形式であり、学生会の皆さんも通常とは異なる環境であったことから戸惑いが伝わってきました。

高専祭については、当初は感染対策に十分な配慮をした上で規模を縮小して通常の形式で行う予定でしたが、しかしながら、スポンサー活動ができないことによる予算の削減、後期開始後の半数登校による準備時間の不足、主に食品を扱うバザー等での感染対策、外部からの入場者の対策など様々な理由から学生会と共に総合的な判断を行い、残念ながら高専祭は中止となりました。

しかしながら、その後、感染対策として下級生と上級生を午前・午後に分けて実施したクラスマッチおよび12月23日の「冬の高専祭」においては、学生会と高専祭実行委員会の皆さんの活躍により何とか活動実績を残すことができ、来年度以降の活動につなげることができました。特に、12月末のイベントでは、イルミネーションの飾りつけ、玄関前の特設ステージの

設置、特設ステージと談話室から教室への配信を行いました。配信は初めての経験であり、技術的事項その他の様々な制限のある困難な状況ではありましたが、学生会のみならず特別に協力してくれた学生や教職員の皆さんの協力のもとで何とか実施することができました。皆様のご協力に感謝いたします。



冬の高専祭



# 高城寮の軌跡と役割

寮務主事 海田 辰将

高城寮は、現在111名の寮生が集団生活する本校の教育施設であり、寮生たちの生活・就学の基盤（インフラ）です。

今思えば、休校・遠隔授業中の4月〜7月は「できない」「中止・延期」「仕方ない」といった言葉が学校内にも飛び交っており、次々と出現する目の前のリスクをとかく「避ける」ことに精一杯だったように思います。その中で、集団生活を基礎とする高城寮では、休校・閉寮が決定された翌週から、寮内でコロナ罹患者が出ることを想定した対策に乗り出し、その翌週には「コロナ対応フロー」を策定しています。次いで、高城寮オリジナルの健康管理表を行政機関の支援を受けながら作成、さらには高城寮でコロナ罹患者が出た場合の消毒方法や学寮再開までのプロセスといった、「コロナ罹患者が当たり前に生じることを前提とした最大限の対策」を行うという基本方針を最初に固めました。

その後、高城寮は閉寮期間中に前例の無い2つの「特別在寮」の実施を判断しました。

1つ目は、遠隔授業に対応することが困難な全ての学生を受け入れるというものです。この特別在寮は、寮生だけでなく、通学生も対象とし、GW明けから実施しました。これは、学寮という施設が普段は寮生たちの生活・就学の基盤であると同時に、「非常時には全学生の就学を保証するセーフティネット」としての役割があるとの考えに基づいています。

2つ目の特別在寮は、寮生を対象とした学校活動の段階的再開のための特別在寮であり、6月末から受け入れを開始しています。この特別在寮は、遠隔授業だけでなく、クラブ活動、研究活動、コンペ活動といった全ての学生活動に関わる不安や困難を軽減することを目的としました。

この頃には、8月の開寮に向けた具体的な準備として、オンライン授業に対応するため、全寮生の同時接続に耐える寮内Wi-Fi環境のリニューアルに着手しており、9月に寮内の全APの更新、光回線の増線、IPv6化を実現しました。同時に、補正予算の獲得によって、寮食堂に大型ディスプレイを備えたWeb会議システムを2セツト、各階のラーニングスペースにもオンライン授業に対応可能な共用デスクトップパソコン、プリンタ、液晶ディスプレイの導入など、脆弱だった寮内のICT環境を一新しました。

た。これにより、毎月実施されるアセンブリや寮生会選挙など、従来は寮食堂にて集合形式で実施していたイベントをオンライン開催としました。一方、寮生たちもこれらの設備をうまく活用してくれており、例えばラーニングスペースで友人と一緒に授業を受けることで、遠隔授業ながらもリアルタイムで分からないところを教え合う姿が多く見受けられました。

その他、一部の届け出書類についてもオンライン化し、業務効率化と接触の機会を減らしています。

後期になると、学寮イベントも再開しました。寮生会と連携し、「コロナ対策に配慮した従来と異なる形だけれども、楽しさや面白さを追求した寮生マッチ&BBQ、クリスマス会、予餞会を実施しています。

高城寮は、従来から教育寮として寮生の学業だけでなく社会性・人間教育の場としての役割を担っています。が、今回のような非常事態では、一人でも多くの学生を支援するため、前例に捉われない形で高城寮の活用について考え、その一部を実際に見たことで、生活・就学基盤としての役割と大切さを実感しました。

# 徳山高専ぞくぞくリニューアル中



- 1 専攻科棟
- 2 専門科目棟  
西側全面改修 平成22年2月  
東側全面改修 平成24年3月
- 3 学生食堂  
平成21年9月改修
- 4 第1体育館
- 5 第2体育館



6 実習棟  
令和2年3月全面改修



7 テクノ・リフレッシュ教育センター  
現在全面改修工事中  
令和3年2月完成予定



8 教室・管理棟  
平成20年3月全面改修  
令和元年10月外壁改修



9 高城寮  
令和2年3月全面改修

### クリエイションセンター

実習棟はクリエイションセンターとして生まれ変わりました。スペースの再配分を図り、狭険化を解消し、安全性や利便性が向上しました。これからの手の動かせる技術者の育成や学生のアイデアを形にする支援を行っていき、より開かれた実習工場を目指していきます。

男子更衣室ができました!

実習工場内 現在のエアコン工事 念願のエアコン 実施中です

なんとトイレも!



全ラーニングスペースに導入されたPCとプリンタ



web会議システムを使ったアセンブリ

巷で言われているBYODって？



どこでもいつでも使える便利 BYOD



徳山高专では、主体的な学びを行うためのツールとして、ICT機器の利用を推進しています。機械電気工学科では自分たちが所有しているICT機器を学校に持ってきて授業に使うBYODを提唱しており、学校でも家庭でも自分の機器を使うことによって、環境の相違を気にせずストレスフリーな学習ができるようになります。これを通して、自ら学ぶ習慣をつけていってもらえればと期待しています。

機械電気工学科のCOVID-19感染対策(CAD室)



間仕切りが設置されたCAD室

ちょっと狭いです

共有するものは使用前後に拭いています

入り口では手拭消毒を

機械電気工学科では、設計製図やプログラミングなどの授業でME-CAD室を使いますが、ME-CAD室には50台以上のPCがあり、隣との間隔が狭く「密」な状態ができてしまいます。そこで、アクリル製の間仕切りボードをPC間に設置しました。間仕切りの設置により、一人の利用できるスペースは小さくなりましたが、横の人と話をすることもなくなり、COVID-19感染拡大防止に役立っています。

テレビ番組制作さながらのオンラインオープンキャンパス学科紹介



配信メイキング動画もあります



～ME配信中 1. 学科主任の話～



総勢23名で配信しました

移動式三脚になるよう車輪は自作で用意しました!

拡大

初めてのオンラインオープンキャンパス。機械電気工学科では、『MEの活動をつまみ食い!』をコンセプトにロケ形式の配信に挑戦しました。当日は、リアルタイムでコメントが届くという事で、視聴者の皆さんに「あれは何?」興味をもってもらえるきっかけを沢山届けようと準備しました。当日は、実習の授業拠点であるクリエイションセンターから配信でした。遠隔授業中で、まだ内装を知らなかった在校生の皆さんも興味津々。感染症対策で集合しての打ち合わせも思うようにできない中、学生の皆さんの協力で普段の活動の魅力をライブ配信できました。当日の様子は公式YouTubeで御覧ください。

Look Back 2020



令和元年の後期から実施されていた高城寮の大規模改修工事が令和2年3月に完了し、主に寮生の居住エリアが全面的にリニューアルされました。また、女子寮の定員が7名増えたことにより、全体の定員が151名となりました。

改修工事中、自宅通学が困難な50名弱の寮生は、合宿研修施設、武道場、福利厚生センターを仮宿舎としており、当時の様子は寮生たちから「野戦病院」と呼ばれていました。それゆえ、寮生たちは本工事の完了を心待ちにしていたと思います。

しかし、本年度はコロナ禍によって8月23日まで開寮できませんでした。本来であれば、リニューアルした高城寮に130名の寮生を迎える予定でしたが、全室一人部屋での開寮となったことから、16名の寮生に自宅通学をお願いせざるを得ませんでした。リニューアルした高城寮に入寮するはずだった寮生を受け入れられなかったこと、悔しい気持ちでいっぱいです。

一方、約1年ぶりに寮に戻ってきた寮生たちの反応は、まさに浦島太郎のような状態でした。上級生も下級生も、まるで新入寮生のように友達と一緒に寮内を隅々まで見て回っては

それを報告してくれる姿はとても微笑ましく、嬉しくなりました。ただ、約1年間使っていなかったせいか、お風呂の蛇口から麦茶みたいな水が出るわ、エアコンの故障が頻発するわ、ボイラーも故障するわ、火災報知器などの原因不明な警報が鳴り響くわ、チャイムは言うこと聞かないわetc...。開寮当初は色々なトラブルがありました。加えて、寮内ネット回線が遅すぎてオンライン授業に耐えられないという問題も明らかになりました。

壁や天井がビカビカに塗りなおされた居室は、部屋全体が明るくなっており、寮生たちがこのままキレイに使ってくれることを願ってやみません。寮の外観もライトグリーンの着色が施され、爽やかな印象です(通称「ハチマキ」)。各階の南北にあるライニングスペースには、北側は自習室(女子寮は一階)、南側は談話室(女子寮は二階として位置づけられており、カーペット敷となっています。キッチンスペース(旧補食室)はオール電化となっており、IHコンロを備えた対面キッチンと、カラフルな塗装で明るい印象です。ちなみに、これらの塗装色は、寮生が決めたそうです。他にも、女子寮の浴室がリニューアルさ



外観

れて浴槽が大きくなり、男子寮2階にはシャワー室が新設され、ユニットシャワー6基を備えています。

また、現在は寮内のネット環境やICT設備も充実しており、ストレス無くオンライン授業やWeb面接などを寮の居室から受けることができます。そして今年度は、アセンブリや寮生会選挙の演説等にもICT環境が利用されています。

寮生の皆さんには、リニューアルした高城寮で、しっかりと学び、寮生活を楽しくしながら、学生生活を充実させて欲しいと思います。



キッチンスペース

ラーニングスペース

二人部屋

一人部屋

学生だって!  
教員だって!

# コロナ禍で挑んだ土木建築工学科の歩み

～めげない! 負けない! 言い訳にしない!!～



## 授業風景他



力と変形(1年)

工学デザイン基礎I(1年)

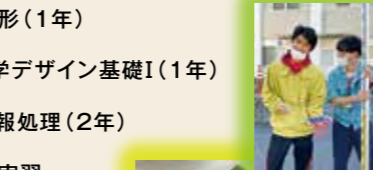
情報処理(2年)

測量実習  
(2年・3年)

工学実験(4年)

卒業研究(5年)

環境建設工学専攻  
総合演習(専攻科)



## 現場見学他

“学びを止めない”感染防止対策に配慮して取り組んだ 校内・校外実習



## 課外活動他

第1回 全国高専インフラマネジメント  
テクノロジーコンテスト

第12回 わたしの住まいリフォーム・  
デザイン案コンテスト2020

「アフターコロナの世界」コンペ



最優秀賞を  
受賞



優秀賞・奨励賞を  
受賞



秋の小さな芸術祭

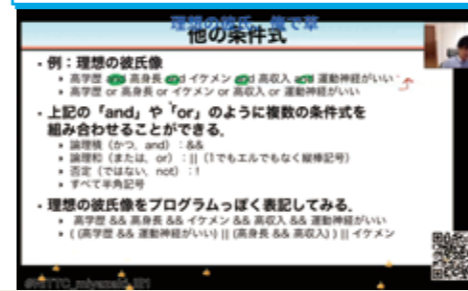


書ききれないことはWebで!!



## 遠隔授業の導入

—学生にとって、教員にとって良い授業とは何か?—



4月頃は「Teams?何それ?」という状態から始まりましたが、ある程度慣れてきたら、課題の提出や成績管理を全てTeams上で行ったり、授業の動画は何回でも学生が見られるように設定できるようになりました。また、コメントスクリーンを導入することで、対面授業よりも質問が飛び交うようになり、改めて「良い授業とは何か?」と考えさせられました。

## 独創性を拓く先端技術大賞



専攻科情報電子工学専攻  
2年生  
**藤井 一貴さん**  
所属研究室やインターンシップ先の研究室の皆様のご協力やご指導の下本賞を受賞できました。今後も受賞を励みに研究活動に精進していきます。

情報電子工学専攻2年の藤井一貴さんが、第34回独創性を拓く先端技術大賞特別賞を受賞しました。これは東京大学での2ヶ月間の長期インターンシップの研究結果で、通常のGAN(深層学習の一種)の識別モデルを人間による評価に置換することで、人間の知覚分布を表現可能な生成モデルを学習するという内容です。

## 学会表彰

電気・情報関連学会の支部大会での受賞



第73回電気・情報関係学会九州支部連合大会において、専攻科情報電子工学専攻2年の横路海斗さんが情報処理学会九州支部奨励賞を受賞しました。また、第71回電気・情報関連学会中国支部連合大会において、専攻科情報電子工学専攻2年の福本拓也さんが電子情報通信学会中国支部奨励賞と情報処理学会中国支部優秀論文発表賞をW受賞し、専攻科情報電子工学専攻2年の浦崎凱聖さんが情報処理学会中国支部奨励賞を受賞しました。

## BYOD(Bring Your Own Device)を開始

—ノートパソコン必携制度—



令和2年度入学生から個人のPCを授業で使用するBYODを開始しました。一般教室でもPC演習ができるので、授業に演習を柔軟に組み合わせることができます。学生は自宅でも課題や宿題をすることができます。プログラミング演習が多い情報電子工学科では、特にメリットが大きい制度です。また、自分のPCを所有し管理し続けることで、実践的で高度なICTスキルが身に付きます。

## Web体験ページ



<http://www2.tokuyama.ac.jp/IE/ievoc.html>

コロナウイルス感染拡大に伴い、夏のオープンキャンパスがオンライン開催となったことに合わせて、情報電子工学科で学習する内容を気軽に体験できるコンテンツを学科Webページに追加しました。本学科で学ぶ内容はもちろん、社会で活躍する卒業生のメッセージ動画や在籍学生の作成したプログラミング作品の紹介もしていますので是非一度ご覧ください。

## 学会表彰

日本音響学会2020年秋研究発表会



専攻科  
情報電子工学専攻  
1年生  
**藤村 拓弥さん**  
先生のご指導と研究室の協力のもと、本賞を受賞できました。この受賞を励みに今後も研究に精進していきます。

専攻科1年生の藤村拓弥さんが日本音響学会2020年秋季研究発表会で学生優秀発表賞を受賞しました。本賞は将来の音響学の発展を担う若手研究者を奨励するために、優秀な発表を行った学生に贈呈されるものです。本学会では修士や博士の学生による発表が多い中で、高専生として受賞できたことは素晴らしい結果です。初めてのオンラインでのポスター発表でしたが、堂々とした受け答えでした。





LEGIT #2  
Dr. Takuo Yamamoto  
～「拓生」という生き方～

カツカツと力強い靴の音色が特徴的な山本拓生先生。いつも熱い指導で学生からの信頼も厚い山本先生の素顔に迫ります。

倉増:早速ですが、先生が授業をするときに大事にされているって何ですか?  
山本:「やる気さえあればわかる授業」ですかね。  
倉増:それってどういう授業ですか?  
山本:教師は分からせることはできません。「やる気さえあればわかる授業」とは、学生の到達度に関わらず、僕の話聞いて少しやる気を出して勉強すれば、どの時点からでも理解し定着できるように授業することで。学生が授業中に数学について議論を始めるときには「よしっ!」って思いますね。人間やる気がなくて興味がないものを議論したりしません。  
倉増:色々考えて授業されてるんですね。突然話は変わりますが、ご趣味ってありますか?  
山本:吹奏楽の顧問してるんですが、元々音楽が好きですね。クラシックとかジャズは特に好きでコンサートにもよく行ってましたね。  
倉増:好きな音楽家っているんですか?  
山本:ベートーベンです。時代関係なく、他の音楽家とは異質ですね。彼は音楽を通じて自然の神秘に迫っていて、神のような存在だと思ってますね。それから、私自身指揮もするので、ベルリン・フィルハーモニーの首席指揮者のカラヤンなんか好きですね。  
倉増:本当に音楽が好きなんですね。最後に、学生に何か一言ありますか?  
山本:学生には色んなものを好きになってほしいって思ってます。僕は学生時代食わず嫌いで、部活なんか意味ないって思ってた。数学も全然好きじゃなく、高校時代は文系だったんです。でも、ひよんなことから数学が好きになり、今では先生になっちゃいました。みんな「数学嫌い」って言ってますけど、「本当に嫌い?」って思ってます。何かをきっかけに突然好きになることもあるわけだし。もっともっと色んなことを好きになって、先人たちの知恵を取り込んでほしいですね。

いつも教えることと向き合っている山本先生の熱い思いを、改めて垣間見えるlegitなインタビューでした。是非皆さんも一度先生の研究室で語り合ってみてください。

一般科目

LEGIT

legitは、元々「合法的、正当な」という意味を持つlegitimateの省略表現で、「質が高い、ホンモノ」という意味のスラングです。日本語で言えば、「マジで」とか「ガチで」に当たり、ネイティブスピーカーが何かかっこいいものやイケてるものを表す形容詞として日常的に使われています。

I love this music. It's totally legit. この音楽大好き。ホンモノだね。  
今回は、いつも教育に真摯に向き合っているlegitな先生方にインタビューし、普段どんなことを考えながら仕事をされているのか、素顔に迫ってみたいと思います。どんなlegitな話が出てくるでしょうか。

LEGIT #1  
Dr. Shogo Takahashi  
～Shogoという哲学～



いつも学生のことばかりを心配して、最近では背中に哀愁が漂い始めた高橋祥吾先生。その背中には、どんな哲学が込められているのでしょうか。

倉増:哲学の先生っていつも難しいことばかり考えておられる印象ですが、普段何されてるんですか?  
高橋:時間があれば、プラモデルやってますね。  
倉増:え? プラモデル? 何を作るんですか?  
高橋:基本ガンダムですね。最近はあまり時間がなくて、買ったやつが部屋に山積みになってます(笑)  
倉増:そうなんです(笑)好きとか目標にしている有名人っていますか?  
高橋:それはもちろんアリストテレスですね。研究してるからってのもありますけどね。彼が言っていることがまだ理解できていないからもっと研究したいって思ってます。  
倉増:なるほど。では、そろそろ本題ですが、教えるときのモットーってありますか?  
高橋:教えるというより、「考えるきっかけを与える」ってことですかね。学生には、今理解できなくても、自分で調べて考えてほしいって思ってます。  
倉増:教えるときの楽しさってありますか?  
高橋:学生から授業後に毎回コメントをもらってるんですが、僕の予想を超えてくれたコメントがあったときには充実感を感じますね。  
倉増:そうなんです。最後に学生たちにどんな人になってほしいですか?  
高橋:自律的な人ですかね。自分で自分をコントロールできる人になってほしいですね。でもこれって本当に難しく、よく「めんどくさい」の方が勝っちゃうんですね。時々学生の皆さんにも言うのですが、「めんどくさい」は敵なんです。じゃあ、どうするの?ってことになるんですけど、「好きなところとか良いところを見つける」ことから始めると良いかもしれないです。勉強の話で言えば、好きな科目とか面白い科目ほど勉強をどんどんできることが多いです。その逆は、「めんどくさい」ですよ。だから、好きな部分を見つけるのは大切です。どの授業の内容も本当は何かしら面白い部分があるはず。まったく面白くないことだったら、そもそも先生たちが研究していませんから。好きなことのために自分で色々工夫したり頑張ったりすると、いつの間にか自分をコントロールできるようになるんじゃないかなと思います。

一般科目のマスコット的な高橋先生のlegitな魅力をほんの一部を紹介しました。是非先生と一度哲学について語り合ってみてはどうでしょう。

FOCUS

一般科目英語科では、グローバルエンジニア育成事業の一環として、令和2年度にEラーニングとオンライン英会話を導入しました。これは、コロナ禍で留学に行けず英語を実践的に使う機会がなかったり、また英語の苦手の克服したいのになかなか腰が上がらない学生たちに、少しでも役立つことができたという思いで始めました。まず、EラーニングはReallyEnglish(リアルイーグリッシュ)という、元々イギリスのケンブリッジ大学出版社と一般企業が共同開発したものを導入しました。スマホのアプリで、いつでもどこでも気軽に受講できます。現在、本科1～5年生を対象とし、各学年の英語科目の成績に含める形で実施しています。年度初めに診断テストを受験し、その結果に応じて学生一人ひとりに合ったコンテンツが提供されるので、効率かつ効果的に学習できます。

一方、オンライン英会話では、フィリピン人講師と毎回15～25分、主にマンツーマン

レッスンを受講しています。1年生の基礎英語Rと3年生の総合英語IHWの受講者を対象としていて、授業内で学習した語彙を実践的に使い、また教科書の単元に沿ったテーマで様々なアクティビティを行っています。特に3年生は、授業内で学んだ文法や慣用表現をカラン・メソッドと呼ばれるドリル式の学習方法で復習しています。フィリピン人の講師の方々は、皆さん明るく気さくなので、英語を勉強しているという感覚ではなく、楽しみなから学べます。今後国際交流室では、フィリピンでの語学研修を導入しようとしていますので、コロナ禍が落ち着けば、教えてもらった先生たちに会いに行けるかもしれません。



徳山高専生の挑戦! 継続は力なり

ロボコン史上はじめてのオンライン大会

「今年度のロボコンは開催されるのだろうか?」「登校がままならない中でロボットの完成は無理なのでは?」「それでも大会には出場したい!」様々な葛藤と不安の中で、今年も挑戦することにしました。

大会が開催されるかどうかの情報はなかなか私達の耳に届いてきませんでした。5月ごろようやく開催されるという噂がSNS上でささやかにして開催するんだ?」「本当にオンラインなのか?」などの憶測の渦中で、色々模索しましたが、結局、6月26日にオンラインで行うことが競技ルールと共に公式発表されました。大会は地方大会、全国大会ともに開催され、大会への参加と勝敗はスマートフォンを使つてのライブ動画配信により得点を競うというものでした。

「今年度のロボコンは開催されるのだろうか?」「登校がままならない中でロボットの完成は無理なのでは?」「それでも大会には出場したい!」様々な葛藤と不安の中で、今年も挑戦することにしました。

た。決められた制限の中であれば、どのようなロボットを創っても良く、例年の競技とは異なり、アイデアが発揮できるという点ではおもしろい競技設定だと思われました。

しかし、6月末の本校は登校禁止下でのオンライン授業の真っ最中だったので、ロボコンメンバーはTeamsを使って、それぞれのアイデアや意見を出し合いました。直接対面して話し合えば短時間で理解が深まることも、オンライン上ではそうもいかないことがしばしばで、例年にも増して設計をする担当者の負担が増えることなども明らかとなり、アイデアをまとめるのも大変でした。私たちは、学校での製作時間がそれほど取れそうにないことから、参加するチーム数を1つ(他高専は複数チームで臨んでいました。)に絞って、ロボットはほとんどの部品をレーザー加工機と3Dプリンターで作れるように設計を考

全国大会にあと一歩、

それでもロボットが評価され技術賞!

機械電気工学科  
准教授 指導教員  
藤本浩

このようにして創った「玉屋」と「鍵屋」の2機種、全6台のロボットで競技に臨みました。ご存じの通り、ロボットは打ち上げ花火の屋号が名前の由来となっています。花火の代わりに、パラシュートと飛翔リングをロボットが打ち上げて夏祭りで見ることのできなかつた花火を思い描き、見る人に喜んでもらおうと考えたわけなんです。

中国大会の前日テストランでは私たちのロボットに対して高評価をいただきましたので、感触として全国大会に手が掛かったと慢心してしましました。しかし、試合当日、実際はロボットの評価以上にパフォーマンスの見せ方(カメラワークや背景の作りこみ)が重要なポイントであることを思い知りました。その点において注力が足りませんでした。結果として、技術賞には選ばれたものの、予選通過に一步及ばない7位におわってしまいました。決勝に残ったチームはテストランでは見せなかつたカメラワークと背景

の作りこみで一段階も二段階も質の高い配信をしていました。

バーチャル国技館で開催された全国大会では栃木の小山高専がシンクロナイスドスイミングをモチーフとした素晴らしいアイデアで、全国初優勝を飾りました。私たちも、現状において、できる限りのことはやりました。ですが、他チームはそれ以上に頑張っていたのです。

このように色々ありました。今度も反省と、次に向かって成長させてもらった大会となりました。特に1年生は半数登校が始まった後期からの戦力合流でしたので、ロボコンの体験も少なく、思い出も小さかつたと思います。それもあって、年末のクリスマスイベントでは一年生でチームを組んでロボットの披露に活躍してもらいました。





## やっぱり笑顔と涙があふれてた

今年のデザコン活動はコロナに振り回され、苦難の連続でした。構造デザイン部門では、ケント紙で橋の模型を製作し、アイデアだけでなく、強さ・軽さ・美しさといった作品の性能を数字で示さなくてはなりません。構造デザイン部門の作品は一人で作れるようなものではなく、複数人の仲間と一緒に、互いの得意を活かし、苦手を補い合いながら、協同することが不可欠です。

そのような競技に魅力を感じ、挑戦した学生たちにとって、「仲間と会えない」、「物が作れない」環境が、どんなに苦しかったことか。

さて、今年の構造デザイン部門に名乗りを挙げてくれた学生は21名(4チーム)、その1/3が初参加です。構造デザイン部門では、校内予選を実施して代表12人(6人×2チーム)を選出しなければなりません。8月末の登校許可までは、主にオンラインミーティングによるコンセプト案の練り込みと構造解析による検討を重ねていきましたが、実際にメンバーが顔を合わせ、初号機をともに製作できるようになったのは前期末試験後の9月下旬。一か月後の校内予選まで

に製作・載荷実験できた作品はわずか2機。

ここまでのストーリーを聞くと、絶望的な状況であり、さぞお通夜みたいな雰囲気の話だった...と思いきや。デザコン部屋には笑顔と活気が溢れていました。コロナ対策のためにローテーションでの活動を基本としていましたが、手が足りないチームのために、ライバルである他のチームのメンバーが手を貸し、マスクの上からでもはっきり分かる笑顔と途切れない会話。そこに育まれる「人との関わり」。

そして迎えた校内予選。必ずしも実験的な検証は充分とはいえないものの、本校デザコンチームの伝統である「おもしろさ」抜群の作品4つのガチ勝負となりました。惜しくも敗退したチームの女子学生が、予選後にみんな帰った教室に一人残って、「私たちの作品はなぜ壊れてしまったのですか?」と涙目で学ぼうとす



21人が挑戦!校内予選

## デザコン2020構造デザイン部門 奮闘記

土木建築工学科  
教授 指導教員  
海田 辰将

る姿勢には、本当に心打たれました。その後、デザコンのオンライン開催が決定され、各専1チーム限定となり、予選を通過した2チームのリーダー2人は、大きな決断をします。「互いの作品の良い所を融合し、12人で1つの作品を作る」。すでに完成されたいずれかの作品に絞ることもできたのに、本選まで1か月を切った段階で、全く新しい構造を作ると言うのです。2人がなぜそのような道を選んだのか?想像してみてください。

そこから本選までの1か月、12人のメンバーだけでなく、校内予選で敗退したメンバーまでもが加わり、本選作品が完成しました。たった一分間のオンラインプレゼンのために何時間も時間を割き、アドレナリン全開のプレゼンを披露しました。そして本選当日もメディアホールにはいつもと変わらない笑顔が咲き乱れていました。

結果としては、惜しくも受賞には届きませんでした。今年のデザコン活動で輝いた「人との関わり」と「どんな時でも前向きな姿勢」。メンバー一人ひとりが、まさにコロナ禍の闇夜を照らす気高く美しい月「麗月」そのものでした。



麗月



本選作品の製作一コマ



最新機材が勢ぞろい! 笑顔満開のオンラインプレゼン



貴重な載荷実験のようす



ハートが繋がる、最後の集合写真

## 全国高専英語プレコン、中国地区英語弁論大会

### プレコンの紹介

徳山高専では、海外でも活躍できる人材を育成する取り組みの一つとして、「高等専門学校校英語プレゼンテーションコンテスト」への参加に力を入れています。このコンテストでは、毎年1月末に開催される全国大会出場を向け、各地域で地区大会が行われます。地区大会には、プレゼン部門と暗唱部門があり、このうち全国大会出場を得るのは、「プレゼン部門の1位と2位のみ」という厳しさです。

本校では、この地区大会に出場するために、まず校内のオーディションを行い、それを取り上げた学生が2部門に分かれてエントリーします。毎年11月に開催される大会の約3ヶ月前から発表原稿の作成や発音練習をしますが、最高のパフォーマンスができるように発音だけでなくアイコンタクトやジェスチャーなど細部に渡って準備していきます。日々の勉強や課外活動の合間を縫って練習を重ね、ネイティブさながらの発音を身に付け、観る人たちを魅了してくれます。

### 過去の大会結果

これまで徳山高専から出場した人たちは、輝かしい成績を残してきました。2018年度の中国大会では、プレゼン部門で情報電子工学科4年(当時2年生)の石田薫子

## 倉増 泰弘

一般科目 英語科  
准教授

さんが1位、土木建築工学科5年(当時3年生)の前田明日香さんが3位となりました。1位となった石田さんは全国大会に出場しましたが、全国大会でも堂々としたパフォーマンスを評価され、全国1位になるという快挙を成し遂げ、2019年11月には山口県知事から「メダル栄光」が贈られています。

2019年度は、前年の石田さんに続くように、中国大会プレゼン部門で2位となった情報電子工学科3年(当時2年生)の山田吏月君が全国大会出場を果たしました。またプレゼン・チーム部門に機械電気工学科5年(当時4年生)の新多史果さん、土木建築工学科5年(当時4年生)の佐村桃香さん、前田明日香さんが動画による予選審査を勝ち残り、シングルとチームの両部門で計4名が全国大会に出場するという快挙を成し遂げました。



2019年度

2019年度

2018年度

### 2020年度のプレコン

2020年度の大会は、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、地区大会、全国大会ともに動画による審査が行われ、色々な意

味で特別な大会となりました。

まず地区大会は、開催された地区とされなかった地域があり、また全国大会の予選大会という位置づけではなく、別の大会として運営されました。無事開催された中国大会では、情報電子工学科3年の山本紗也さんが「これからの時代における女性の幸せのあり方」について、時に高校生らしく時に大人顔負けの切り口で語り、土木建築工学科3年の三浦舞桜さんが「これからの住まいとは」について、専門性を活かし熱いプレゼンを披露しました。一方、暗唱部門に参加した機械電気工学科3年の手島徳己君はGoogle社のマッド・カツツ氏のTEDトークを再現し、躍動感あるパフォーマンス動画を制作しました。結果として、山本さんがプレゼン部門で2位となり、徳山高専は3年連続で中国大会での入賞を達成しました。

また、全国大会は、毎年1月に東京にある国立オリンピック記念青少年総合センターで行われていましたが、2020年度はシングルプレゼン部門のみ動画審査による開催となりました。徳山高専からは、中国大会に出場した山本さんと三浦さんが別途参加しました。全国から寄せられたプレゼン動画51名分が審査され、16名のみが本選に進めるという厳しい大会となりましたが、山本さん、三浦さんともに本選出場となりました。

た。本選では再度動画作成・提出が求められました。2人ともより質の高いパフォーマンスを完成させるために毎日努力を重ね、なんとか動画を完成させました。本選は、事前に審査されたプレゼン動画および開閉会式をYouTubeによる限定配信で行われ、山本さんが日本工業英語協会会長賞(JSTC賞)に輝きました。



機械電気工学科3年 手島 徳己 さん



情報電子工学科3年 山本 紗也 さん



土木建築工学科3年 三浦 舞桜 さん

英語プレゼンテーションコンテスト大会ポスター



英語が使える高専生

全国高等専門学校  
プログラミングコンテスト

情報電子工学科 5年  
大田 竜斗

令和2年度 就職・進学状況

学科	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科	
就職先	アイリスオーヤマ(株)	(株)アスパーク	(株)I.D.Works	
	(株)アシックス	NSウエスト(株)	(株)宇部建設コンサルタント	
	ENEOSホールディングス(株)	(株)NTTデータMSE	宇部興産(株)	
	(株)クボタ	(株)エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア	エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)	
	シチズン時計マニュファクチャリング(株)	ENEOS(株)	ENEOS(株)(水島製油所)	
	水ing(株)	(株)エフ・ケー・シー	(株)計測リサーチコンサルタント	
	武田薬品工業(株)光工場	神田通信機(株)	五洋建設(株)	
	東ソー(株)南陽事業所	コベルコソフトサービス(株)	(株)シーエム・エンジニアリング	
	東ソー・ハイテック(株)	サントリービール(株)	ショーボント建設(株)	
	(株)トクヤマ	新立電機(株)	大日本土木(株)	
	日本ゼオン(株)徳山工場	ソニーLSIデザイン(株)	大和リース(株)	
	(株)日立ハイテク	中国電力(株)	(株)竹中工務店 広島支店	
	(株)ヒロテック	中国電力ネットワーク(株)	中国電力(株)	
	不二輸送機工業(株)	東海旅客鉄道(株)	中電技術コンサルタント(株)	
	三菱重工業(株)	東ソー情報システム(株)	東海旅客鉄道(株)	
	三菱電機エンジニアリング(株)	東ソー・ハイテック(株)	東京都下水道サービス(株)	
	メタウォーター(株)	日本放送協会(NHK)	東ソー(株)南陽事業所	
		ネクストウェア(株)	(株)トクヤマ	
		パナソニック(株)コネクティッドソリューションズ社	西日本高速道路エンジニアリング中国(株)	
		(株)日立ハイテク	防府市	
	富士通(株)	メタウォーター(株)		
	富士通Japan(株)			
	三菱重工業(株)			
進学先	大阪大学 基礎工学部 システム科学科	九州大学	熊本大学 工学部 土木建築学科	
	金沢大学 理工学域 数物科学類	筑波大学 情報学群 情報科学類	東京都立大学 都市環境学部 建築学科	
	京都工芸繊維大学 工学部 設計工学域	東京大学	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学課程	
	東北大学 理学部 物理学科	山口大学 工学部 知能情報工学科	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学課程	
	横浜国立大学 理工学部 機械・材料・海洋系学科	専門学校HAL	広島大学 工学部 第四類(建設・環境系)	
	徳山高専専攻科	広島コンピュータ専門学校 情報管理科	横浜国立大学 都市科学部 都市基盤学科	
		徳山高専専攻科	徳山高専専攻科	
専攻科	専攻	機械制御工学専攻	情報電子工学専攻	環境建設工学専攻
	就職先	(株)京都製作所	JBCC(株)	エム・エムブリッジ(株)
		ダイハツ工業(株)	東海旅客鉄道(株)	ショーボント建設(株)
テルモ(株)		東ソー・ハイテック(株)	(株)ラックランド	
進学先(大学院)	(株)奈良機械製作所	三菱電機エンジニアリング(株)名古屋事業所		
	日立交通テクノロジー(株)笠戸事業所			
	九州工業大学大学院 情報工学府	静岡大学大学院	東京大学大学院	
	慶應義塾大学大学院 理工学研究科 開放環境科学専攻	東京大学大学院	豊橋技術科学大学大学院	
		東京都立大学大学院		
		奈良先端科学技術大学院大学		
		広島大学大学院		

今年度の全国高等専門学校第31回プログラミングコンテスト(以下高専プロコン)は、新型コロナウイルスの影響により小牧高専の主催でオンラインでの開催となりました。今回の高専プロコンでは自由部門と課題部門の二部門が行われました。自由部門では自由に独創的なシステムを、課題部門では「楽しく学び合える」というテーマに沿ったシステムを開発し、プレゼンテーションやデモンストラーションを行います。

私たちニューメディア部のメンバーは課題部門に応募し、近年SNS上に存在している「タイムラプス勉強法」という勉強法を支援する、「図1のような構成のシステムを提案しました。

今回の課題部門の予選は、12ページの資料のみで審査されるため、見やすい資料かつ、アイデアが伝わりやすい資料を作成する点で苦労しました。加えて、チームのメンバーで集まりながらアイデアを出し合うことができないうため、遠隔で話し合いや資料作成を行いました。その際、メンバー間の意思疎通や指示出しがうまくいかず、例年通りスムーズに資料作



図1 システム概要

成することが難しかったですが、徐々に慣れていくことができ、役割を分担することで高専プロコンの予選に挑むことができました。

惜しくも私たちの作品は本選に出場できませんでした。来年度は今年の良い経験を活かし、本選出場して上位を目指していきたいです。



第34回独創性を拓く先端技術大賞特別賞&音学シンポジウム学生ポスター賞  
情報電子工学専攻 2年 藤井 一貴さん



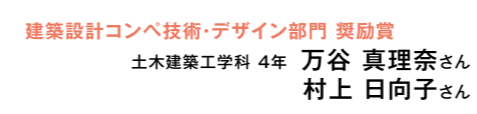
株式会社ニシエフ様から専攻科インターンシップの成果に感謝状  
機械制御工学専攻 2年 宮田 凜平さん



第12回わたしの住まいリフォーム・デザイン案コンテスト2020建築設計コンペ技術・デザイン部門 優秀賞  
土木建築工学科 5年 前田 明日香さん



鋼構造シンポジウム 優秀発表賞  
環境建設工学専攻 2年 横屋 翔さん



建築設計コンペ技術・デザイン部門 奨励賞  
土木建築工学科 4年 万谷 真理奈さん 村上 日向子さん

受賞・表彰ニュース  
掲載されたものです。  
News & Topics



# 今年の就職・進学状況

## 不確実性の高い時代においても前を向いて

機械電気工学科

5年担任／機械電気工学科／准教授 鈴木厚行



2020年度の機械電気工学科5年生は就職志望者が24名、進学志望者が15名です（就職志望者と進学志望者の比率はだいたい6対4です）。今年度は新型コロナウイルスの影響が大きく、就職・進学いずれの場合にもスケジュールが読めないケースが多くありました。幸い、これから第一志望先を受験する学生を除き全員が内定あるいは合格となりました（2020年12月現在）。

就職については、学生たちは例年より苦戦していたように感じます。学生たちが応募した企業の中でも新型コロナウイルスの影響で採用人数を減らざるを得ないというご連絡は実際に数社からありました。昨年度は655社から求人票が届きピークでしたが、今年度は579社まで減少してしまいました。とはいえ、まだまだ多いと言えますし、新型コロナウイルスによる社会情勢の変化の割には、影響が少なかつたと思います。2022年卒以降はさらに就職活動が難しいものになる可能性があります。

進学についても苦戦した学生は少なくありませんでした。受験ほどの程度の時間を掛けて勉強したかが重要と思います。極力早い段階から興味のある進学先の過去問を手に入れて何をどう勉強していくべきか見定めましょう。情報を得ることも重要です。インターネット上にもたくさん情報がありますし、先輩や教員にもうまく頼ってみるといいと思います。

就職・進学いずれも場合も面接で特に大事になるのは「アピールできる強みがあること」「コミュニケーション力が高いこと」「それから「人生をかけて何をしたいか」という軸を持っていること」と思います。数多くの応募者の中から選ばれる手取り早い作戦は差別化を図ることでしょう。学生の皆さんはぜひ学校で与えられたこと以外のことにも取り組んでみてください。その上で「コミュニケーション力も磨くと良い」と思います。まわりに合わせる必要は無いです。周りがやらないからこそ、まずは一歩前に進みましょう。

## 本年度の就職・進学活動状況

土木建築工学科

5年担任／土木建築工学科／教授 古田 健一



令和2（2020）年度の土木建築工学科5年生の卒業予定者は43名（男子27名、女子16名）です。就職希望者23名（民間企業22名、公務員1名）、進学希望者20名（専攻科11名、研究生1名、大学編入8名）でした。今年度は就職・進学を問わず、新型コロナウイルス感染症とその感染拡大防止対策に振り回された1年でした。

就職活動の始まりは、4年生の夏休みに行われたインターンシップでした。これにはクラスのほぼ全員が参加し、1週間、あるいは2週間の職場実習を体験しました。インターンシップ先が就職先に結び付いた学生も数多くいたので、インターンシップ先の選択が重要な意味を持つことになりました。大部分の企業で面接試験がリモートで行われ、学生は自宅や学校の会議室からパソコンを使って面接試験に臨みました。実際に対面せず自分アピールするのは大変だったと思います。その様な中で、ほとんどの者が第1希望の会社から内定をいただきました。これは学生の就職希望先の会社に徳山高専卒の

OB、OGが在籍したためです。これまでの先輩方の活躍が採用に大きく影響していたことは間違いありません。今後もこの傾向は続くことが予想され、この良好な連鎖は徳山高専の財産として大切にしていきたいものです。

一方、専攻科入試や大学編入入学試験も、非常事態宣言などの影響で試験日が延期され、本来行われるはずの面接試験が行われませんでした。高専からの大学進学は、複数の国立大学が受験できることに特徴があります。多い人は4つもの大学を受験しました。複数の大学を受験し、合格した中から行きたい大学を選べば良いのですから、進学先の決定に気持ちの余裕というものがありません。しかも、普通科高校からの大学受験と違い、大学入学共通テストを受けることなく、大学指定の数学・英語や専門科目試験を受ければ良いのですから、専門とは直接関係のない科目の受験のための勉強はしなくても良いのです。高専からの大学進学も、ある意味で一つの財産ですね。

## 就職・進学について

情報電子工学科

5年担任／情報電子工学科／准教授 杉村敦彦



就職・進学については、どちらの場合も早めに希望する企業や大学（学部）を決めて、十分な準備を行うことが重要です。

大学編入を考えている場合は、少なくとも毎年次にはその方向を自覚し、編入試験に向けた準備を始める必要があります。幸いなことに、各大学で、編入試験の時期が異なるため、いくつかの大学の編入試験を受験することが可能です。これは、高校生が国公立の大学を受験する場合、通常は二つ程度の大学しか受験できないことに比べると、大きな違いです。ただ、大学編入の場合は、全国の高専生との競争になるため、学校の授業以外の十分な準備が必要です。最近、専門学校からの受験も可能な場合があり、大学3年次編入を目的とした専門学校もあるような状況です。

就職については、従来から高専生を採用している企業も多くありますが、最近、高専生の能力に気づいた企業もあり、新たに高専卒の採用を始める企業が増えてきている状況です。また、企業側の調査でも入社後の伸びが良い社員をピックアップしてみると、高専卒、あるいは高専から大学に編入したという社員割合が高いという結果もあるようです。このように就職に関しては、大変恵まれた状況にあります。しかし、企業としては、一緒に仕事をすることができ、人を求めています。入社後どのような仕事をした

いか3年後5年後にはどうなっていたかという明確なビジョンを持っていないと、採用されることはありません。事実、一社目で採用されず、二社目三社目を受けることになった学生もいます。そのような学生に対して、企業から共通して言われるのは、志望動機が曖昧であるということです。採用面接の際にその会社に入ってからどんな仕事をやりたいかが、明確に伝わらないということです。そのため、どのような企業があり、どのような仕事を行っているのかを十分に調査研究し、そこで、自分が何をしたいのかを明確にしておく必要があります。

企業は消費者を対象としているBtoCの会社と、他の企業を対象として仕事をしているBtoBの会社があります。BtoCの会社は、テレビなどの「マスマーシャル」がよく見聞きする会社です。しかし、会社の数としては、後者のBtoBの方がはるかに多く存在しています。学生の皆さんは、4年生の12月から1月の間に希望する企業を決める必要があります。また、早いところでは3月に採用試験が行われる場合があります。もしかすると40年以上働くことになる企業を、比較的短期間に決定しなければなりません。

後悔することのないように、十分な準備と対策をする必要があります。

## WEB会議システム等の普及

専攻科

専攻科幹事／機械電気工学科／助教 池田将晃



令和2（2020）年度の専攻科生の進路は民間企業就職13名、大学院進学11名、その他4名という状況です。

令和2（2020）年度の専攻科生対象の企業等からの求人は機械制御工学専攻に506社、情報電子工学専攻に482社、環境建設工学専攻に256社ありました。各専攻とも前年度と同程度の高い水準の求人件数でしたので、高専本科生のみならず専攻科生にも多くの企業から引き続きご期待いただいていることの表れと考えられます。ただしこれは令和元年度末の新型コロナウイルス感染拡大前から届いていたものを含む数ですので、その後の各企業等の採用活動の実態とは異なる可能性もあります。

今年度の就職・進学活動は例年と大きく異なるものとなりました。企業の採用試験や大学院の入学試験のスケジュールを変更されるところも多く、再発表が慎重になされたところもありました。また、採用面接や入学試験がWEB会議システム等を用いて遠隔で実施されるところが多く

ありました。これまでも1次審査として適性試験やSPI試験をWEB上で行う企業は多くありましたが、多くの企業や大学の面接や入学試験がWEB経由で行われたのは今年の特徴でした。専攻科の入学試験も推薦入試はWEB会議システムを利用して実施されました。

対面の面接の方がその人の特性をより総合的に判断できる、一堂に集めた入学試験は公平性を担保しやすいという特徴はありますが、機器や通信環境の普及状況、実施側のリスクやコストを考えると、将来的にもWEB会議システム等を使った採用面接や入学試験は一定の割合で活用されていくと予想しています。

これから進路を決めていく学生の皆さんは、これまで一般的に言われていた進路選択の際に考えておくべき良いことに加えて、希望する企業や大学がWEB会議システムで面接などを実施する場合の自分の演出についても意識する必要があります。それには遠隔授業やWEB会議の活用も効果的でしょう。

# 就職進学STORY



機械電気工学科  
**井上 恭一**

**後輩に一言**  
自分の可能性を信じること

**進学先**  
大阪大学基礎工学部  
システム科学科  
機械科学コース

進学するにあたって一番大切にしてきたことは、計画です。基本的なこともかもしれませんが、一日の計画、一カ月の計画、受験日までの計画、進学してからどんなことがしたいかまでの計画を徹底しました。計画をどれだけ実行に移せるかが大事です。みなさんも、将来の計画を立て、可能性をつかみ取りましょつ。

進学までの道のりを紹介！  
**井上さんのリアルSTORY**

- 本科1年**
  - 4月 高専入学、ソフトテニス部入部
  - 勉強のコツをつかみ、成績アップ
- 本科2年**
  - 部活に没頭、勉強との両立も努力してやり遂げる
- 本科3年**
  - 進学&大阪大学を受けることを決意し、受験にむけた計画を立てる
- 本科4年**
  - 推薦の選択肢もあったが、大阪大学への受験にしぼる
  - 6・7月 TOEICの勉強に集中
  - 10月 大阪大学に合格した先輩がいることを知り、様々な情報を得て、進学へのモチベーションが上がる
  - 11月 大阪大学は、工学部と基礎工学部を受けられることを知り、どちらも受験することを決意
- 本科5年**
  - コロナで学校に行けず、友達とも会えない状態で、部屋にこもりっきりで勉強(結構辛かった)
  - 専攻科入試が延期となり、最初の受験が第一希望の大阪大学基礎工学部になる
  - 7月 大阪大学基礎工学部編入試験を受験、合格



機械電気工学科  
**小林 唯人**

**後輩に一言**  
自分が本当にやりたいことをやれる道は必ずある!

**就職先**  
株式会社アシックス

「自分が本当にやりたいことは何なのか」  
これを考えることがどんな道に進むとしても一番大切なことだと思っています。やりたいことが見つければ、自ずとやるべきことは見えてきます。やるべきことが見つければ今までよりも楽しく充実した生活が送れるはずです。皆さんもぜひ自分がやりたいことを見つけてみてください。

就職までの道のりを紹介！  
**小林さんのリアルSTORY**

- 本科1年**
  - 4月 テニス部に入部
  - 全国高専優勝を目指して練習に励む
- 本科2年**
  - 業種に囚われず、いい企業を探してみるが、事業内容等惹かれる企業が無く進路に悩む
- 本科3年**
  - 学内の企業説明会に参加
  - 自分の未来を現実的に考えるようになり、家族にも相談し始める
  - 給料や待遇も大切だが、自分がやりたいことを仕事にできた方が良くという考え方に変化
  - 10月頃 なんとなくスポーツ関係の仕事に就きたいと思うようになる
- 本科4年**
  - 8月 全国高専大会シングルス優勝
  - これからもテニスをずっと続けたい。スポーツ関係の仕事に就きたい。という気持ちが強くなる。
  - 9月 株式会社アシックスのインターンシップに参加
  - 1月 株式会社アシックスより面接試験の案内を頂く。
- 本科5年**
  - 4月上旬 面接を受け、その場で内定
  - 10月上旬 オンラインで内定式が実施される。
  - 2月上旬 内定者オンラインプログラムに参加。同期とのグループワークを通じて、入社後の自身の姿をイメージする。



情報電子工学科  
**野崎 千智**

**後輩に一言**  
友達や相談できる相手を大切に!

**就職先**  
日本放送協会 技術職

今年はコロナ状況の中での就活だったので日程が変わったり、面接がオンラインになったりして、大変な時がありました。私はいかなる状況でも、ありのままの自分を見せることが大切だと思っています。ありのままの自分を見つめなおすことにより、自分に合った職種に巡り合えると思います。

就職までの道のりを紹介！  
**野崎さんのリアルSTORY**

- 本科1年**
  - 水泳部に入部(小学校から継続)
  - 高専でも結果を出す!という目標に向けて、学業との両立をがんばりながら、部活動に励む
  - 進路については全く考えてなかった
- 本科3年**
  - 部活終了。これまで情熱を大きく注いできたものを失い、これから何がしたいかわからなくなる
- 本科4年**
  - 自分に進学は合っていない(勉強はあまり好きではないため)と思いつく就職を決意
  - 決意するも、就職先や業種が定まらないことにずっと焦りを感じる日々
  - これまでの情報電子工学科の就職先をみて色々調査し、インターンシップを探し、とにかく動く
  - 9月 企業説明会とNHKテクノロジーズのインターンシップへ
  - 12月 中国電力のインターンシップへ
  - 1月 企業説明会とNHKテクノロジーズ、NHKのインターンシップへ行き、カメラマンや音響の仕事を経験し技術職に興味を持つ
  - 3月 エントリーシート提出・SPI試験を受ける
- 本科5年**
  - 4月 就職試験(1次面接・論述試験)
  - 5月 就職試験(2次・3次面接)緊張することなくオンライン面接に臨めた。対面よりオンライン面接は、圧迫感がなく、自分には向いていた
  - 現在 入局してから必要になる資格(第一級陸上無線技術士)を取得のため勉強中。



情報電子工学科  
**山根 直樹**

**後輩に一言**  
今日から準備

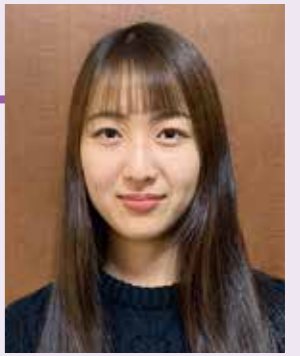
**進学先**  
筑波大学  
情報学群 情報科学類

入学時から、進学を考えていましたが、学年が上がるにつれ、何から始めたらいいかわからず、焦りがありました。試験の勉強だけでなく、試験や大学について調べることも、慣れないと大変です。まずは、先輩が進学された学校について、大学HPや合格体験記で調べてみるのがいと思います。今日から準備を始めてみてください。

進学までの道のりを紹介！  
**山根さんのリアルSTORY**

- 本科1年**
  - 進学と就職の道、どちらかにするかは入ってから決めるというスタンスで入学
  - 何となく進学を目指す
- 本科2年**
  - 進学を意識した勉強を日々心掛け、学校の授業や課題を頑張った
- 本科4年**
  - 8月 進学を目指していたが、社会に出るときのことを考え、インターンシップ参加
  - 楽しそうに充実している働く姿をみて、いずれ就職するときのイメージをもつことができた
  - 12月 TOEIC(SPI)を受ける。ここでTOEICから数学中心の勉強に
  - 1・2月 受験校を決める。
  - 進学先の情報収集のため、過去の進学実績や大学HPをいっぱい見た
  - 勉強方法や進学先について学科の先生に相談しアドバイスをもらう
- 本科5年**
  - 8・9月 延期された編入試験を受ける

希望する会社や大学に就職・進学した学生はどんな学生生活をおくつてきたのか? 今年度卒業・修了する学生に徳山高専の5年間・7年間を振り返ってもらいました。徳山高専生等身大のリアルストーリーと後輩へのメッセージです。



## 土木建築工学科 佐村 桃香

**後輩に一言**  
色々なことに興味をもって挑戦したら、楽しいし、それで得られたものは自分にとって大きな糧になる

**進学先**  
熊本大学 土木建築学科

私は将来、人と環境を大切にしたい設計をしたという夢があり、そのために高専で学んだことをさらに広げたいという思いから、進学を決めました。受験勉強と一緒に頑張ったり励ましてくれたりした友達、家族、面接練習や添削を熱心にご指導してくださいました先生方のおかげで最後までやりきることができたと思います。この受験期間に学んだことや周りの人への感謝の気持ちを忘れず、大学でも色々なことに挑戦して頑張ります。

### 進学までの道のりを紹介！ 佐村さんのリアルSTORY

- **本科1・2年** ぼんやりと進学を考える
- **本科3年** 建築と土木の2択で建築を選ぶ  
コンベや短期留学に挑戦
- **本科4年** 8月 オープンテックに応募して設計事務所  
所にインターンに行く  
冬頃 進学することを決め、受験勉強に少しだけ取りかかる(志望校迷う)  
3月末 受験する大学を決定する
- **本科5年** 4月 本格的に受験勉強準備を始める  
6月27日 豊橋技術科学大学 試験日  
7月11日 熊本大学 試験日

## 機械制御工学専攻 竹中 歩夢

**後輩に一言**  
一期一会。  
嫌そうな相手でも猫かぶって話してみて。

**就職先**  
株式会社奈良機械製作所

進路を決めるにあたり、たくさんの選択肢があると思います。自分が何をしたいのかよくわかっていないなら、なんとなく面白そうだと思ったことに首を突っ込んでみるといいと思います。嫌な感じの人がいたら猫をかぶって切り抜けましょう。

### 就職までの道のりを紹介！ 竹中さんのリアルSTORY

- **高校1年** 4月 高校卒業後に、ものづくりの職に就きたくて、工業高校に入学。中学の復習  
しかない授業に不満。  
● **高校2年** 12月 生徒会選挙に立候補、副会長になる。
- **高校3年** 7月 進路決定にあたり、まだ勉強したい  
と思ひ進学を選択。試験に向けて勉強を始める。  
9月 徳山高専の4年次編入試験を受ける。
- **本科4年** 7月 メカトロシステム部に入部、ロボットの回路を担当。3Dプリンターに興味を持ち、中華製やジャンク品を買っている、CADの練習もする。  
8月 県内の企業に2週間インターンシップ  
に行く、興味があった会社だが実際に  
見て、全く合わないと考えを改める。  
10月 家庭教師、塾講師のバイトを始める。
- **本科5年** 就職先を決めかねて専攻科に入る。
- **専攻科1年** 7月 長期インターンシップで奈良機械製作所にお世話になる。エンジニアリング部で3Dモデリングや、PLCを使ったシーケンス制御を経験する。業務内容が自分の好きなこと合っており、社内の雰囲気がいと感じた。
- **専攻科2年** 5月 SPI試験と面接を経て奈良機械製作所に就職が決まる。



## 土木建築工学科 長合 香奈

**後輩に一言**  
「後悔はない!」って  
言いきれるように全力で

**就職先**  
中電技術コンサルタント  
株式会社

私は入学当初から進路先を公務員しか考えていませんでした。しかし夏のインターンを通して意識が変わり、結果進路を変更しました。企業や大学など進路先を知る手段はたくさんあります。自分が将来後悔しないように自分の目で見て、たくさん調べて、比較して、大満足してから決めることをお勧めします!また、CAは学生のやりたい!楽しみたい!に全力で答えてくれるところです。学生生活を後悔しないように猪突猛進で走り抜けましょう!

### 就職までの道のりを紹介！ 長合さんのリアルSTORY

- **本科1年** 就職の話で公務員への道を知る
- **本科2年** 一気に成績が落ちる(前期中間6科目欠点  
先生方の会議で名前が挙がる)
- **本科3年** これはやばいと勉強を頑張る(平均点90点  
代達成!!)  
キャリアデーに参加、進路を決める  
(この時点では公務員志望)  
公務員志望への転身により、SPIのお試し  
試験をぶつちする  
土木と建築の選択で土木を選ぶ
- **本科4年** 4月頃 インターン先を考える  
6月頃 インターン先を決定  
連絡、申し込みをする。  
8月 国土交通省中国地方整備局と、中電  
技術コンサルタント(株)にそれぞれ  
1週間のインターンシップに参加  
公務員に決まらず  
公務員志望から民間志望に乗り換え  
11月頃 進路希望を中電技術コンサルタントに決定  
12月 週6でバイトの生活を送る  
授業中に寝すぎて「爆睡長合」の名が  
とどろく  
春休み 資料準備(履歴書、小論文等)  
2月 コンサル業界を知るため、同業他社の  
1dayインターンに参加
- **本科5年** 4月 就職試験 小論文の難しさを思い知る  
6月 就職2次試験(面接)「しゃべくり長  
合」の名がとどろく(内々定  
勢いで技術士二次試験への挑戦を決意する  
卒業研究が中電技術コンサルタント  
との共同研究になる)
- 10月 オンラインで内定者懇談会  
12月 技術士二次試験(建設部門)合格

## 情報電子工学専攻 藤井 一貴

**後輩に一言**  
明確な夢や目標を持って  
努力すれば報われます!

**進学先**  
東京大学大学院  
情報理工学系研究科  
創造情報学専攻



低学年で成績が悪くても、それを挽回する努力があればどのようにもなります。成績トップでなくても研究分野で輝くことは出来ます。「〜がダメだから」といったことで僻まず、目標を見つけて努力することが大切です。皆さんが夢や目標を見つけ、それを叶える努力の末に掴む未来が良いものであることを祈っています。

### 進学までの道のりを紹介！ 藤井さんのリアルSTORY

- **本科1年** 勉強がうまくいかず赤点ギリギリのライン  
で入学早々挫折。
- **本科2年** プログラミングコンテストに興味を持ち、  
ニューメディア部に入部。
- **本科3年** 数学の単位を落とすも、猛勉強により再試  
はほぼ満点で単位を取り戻す。この経験  
で努力は実ることを実感。
- **本科4年** 8月 進学を見据え、インターンシップ先に  
豊橋技術科を選ぶ。  
後期 画像分野に興味を持ち、画像処理研  
究室に配属される。専攻科から大学  
院に進学することを決める。
- **本科5年** 5月 専攻科推薦試験に合格。
- **専攻科1年** 4月 研究室の先生の異動に伴い研究室が  
変わる。研究分野が画像から音に  
変わる。  
7月 東京大学大学院にインターンシップ。  
音声に関係する機械学習の研究を  
行う。
- **専攻科2年** 5月 インターンシップでの成果を国際  
会議で発表。  
● 研究成果が認められ第34回先端技術大賞  
特別賞と音学シンポジウム学生ポスター  
賞を受賞。
- 8月18日〜19日 東京大学大学院受験合格。





### 後期寮生マツチ



留学生も一緒にサッカー



寮生マッチの最後は「しっぽ取り」

### 寮生マツチBBQ



コロナ対策!焼食分離



こちらは女子寮 マシュマロもあつたり

### クリスマス会



大爆笑!気配切り



夜中の校舎(談話室)で大富豪

### 予餞会



卒寮生と寮生会執行部



気配切り2020決勝戦!優勝したのは留学生(写真右)

### 学寮勉強会



先輩が教えてくれます



初めてのオンライン演説

### 入寮式



新入寮生代表挨拶

今年度の寮生会執行部は例年より活動している期間が短かったですが、先輩方がとても優しく私自身、楽に仕事をすることができました。私が印象に残っていることは、寮玄関のイルミネーションを設置したこと。他の行事も含め、とても楽しく寮運営に携わることが出来ました。

副寮長  
土木建築工学科 3年 外西 大輝

1番の思い出は、クリスマス会です。寮生会執行部で全員着ぐるみを着てました。今回初めて学校校舎を使って宝探しをしました。学校にはいっさい電気をつけずに懐中電灯を配って行いました。間違いなく史上最高のクリスマス会でした。

寮生会長  
土木建築工学科 4年 山下 航星

美化厚生部長を担当しました。イベントや行事だけでなく、いつもの日常で必要なのは掃除片付けです。今年はいろいろといつもと変わった日常でしたが、皆さんに協力していただいたため、いつもより綺麗な寮にすることができました。

土木建築工学科 4年 稲田 透直

内務部長として、行事の司会や各当番表の作成などを行いました。週番や風呂当番をしてもらった1,2年生には本当に感謝しています。また、今年は新型コロナウイルスの影響で例年通りの寮生会活動を行うことはできませんでした。それでも、ほかの役員や先生方と協力しながら、寮生全員で楽しめるような行事を企画することができて良かったと思います。

機械電気工学科 4年 松田 和親



寮生会役員と寮務主事  
【前列】4年 山下航星、海田寮務主事、4年 加納万帆里  
【後列】4年 稲田透直、3年 外西大輝、4年 松田和親、4年 吉武侑悟

### 高城寮のイベント



新入寮生集合写真

# 学生会活動

## クラスマッチ

体育局長 機械電気工学科4年 原田 唯斗

後期クラスマッチが11月11日に行われました。今年は例年とは違い、新型コロナウイルス感染症に配慮した形での開催となりました。午前と午後で時間を分けて実施したり、競技者以外の人はマスクを着用したりするなど少し変わったクラスマッチとなりました。準備の段階から、コロナ対策と学生が最大限楽しめるようなクラスマッチになるように考えてきました。特に、時間で学生の移動を制限することで、三密を防ぐ対策を練ることに苦労しましたが、当日は天候にも恵まれ、例年と変わらず、とても盛り上がったクラスマッチとなりました。

午前の部では、ME5(MEII機械電気工学科)がサッカー、ソフトボール、フリスビードッチ、バレーボールの4種目を制し、総合優勝を果たしました。午後の部では、全種目で優勝クラスが異なる接戦となりましたが、ME3が総合優勝を勝ち取りました。また、前期クラスマッチが開催できなかったため、初めての参加だった1年生も先輩たちに負けずと全力で競技

をしている姿が印象的でした。今年度は、クラスマッチが新型コロナウイルスの影響で1回しか行えませんでした。来年度も例年通りにクラスマッチが行えないかもしれませんが、今年度と同様に新型コロナウイルスの感染防止を行いながら、学生全員が楽しめるクラスマッチを体育局と文化局で運営していきたいと思っています。



ドッチビーではディスクを相手の足元をめがけて投じます!



ソフトボールでは、青空のもと白球を追いかけてました!



サッカーでは熱戦が繰り広げられ、PK戦までいくこともしばしば!



この日に向けて、チーム力を高めてきました! 力強いスパイクが炸裂!

## 学生会クリスマススイイベント

学生主事補 室谷 英彰

12月23日の夕方からクリスマススイイベントを実施しました。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で高専祭が中止となり、その代替イベントとしての位置付けで学生会が中心となって企画・運営を行いました。イルミネーションによる飾りつけやメカトロシステム部によるロボットの実演、有志団体によるダンスの披露、吹奏楽部によるクリスマスコンサート、デザイン研究部によるランプの紹介、抽選会などが主な内容でした。コロナ禍での実施ということもあり、密を避けるために直接観覧できる人数を制限し、イベントの様子を各教室にライブ配信するという形で実施しました。

イベント実施日の数週間前から、ロータリー周辺や談話室の前庭をイルミネーションで徐々に飾り付けました。当日が近づき、イルミネーションの数が増えるにつれて、学校全体でクリスマス気分が盛り上がっていったように思います。

当日は、天候にも恵まれ、予定通り玄関前のロータリーに設置したステージと学生談話室でイベントを実施することができました。参加は任意でしたが、多くの学生が学校に残ってイベントに参加してくれました。ス

テージ上ではロボットの实演やダンスが披露され、学生談話室ではクリスマスコンサートが行われました。ステージ周辺や学生談話室で直接観覧していた学生達だけでなく、教室でライブ配信を見ていた学生達も節度を保ちつつ盛り上がっていました。また、イベント終了後に行われた総合企画室主催の校舎のライトアップや、デザイン研究部の展示したランプが当日の雰囲気より一層盛り立てていました。機器のトラブル等はいくつかありましたが、全体を通して成功裏にクリスマススイイベントを終えられたのではないかと思います。

クリスマスイベントの実現に向けて、イルミネーションの設置や、ステージの設営、ライブ配信のための環境構築など、学生会を中心に多くの学生達が積極的に動いていました。高専祭が中止となり、気を落としていた学生も多かったのですが、今回のイベントの成功が学生達の達成感に繋がればと思っています。

コロナ禍で先が見えず、学生生活に多くの制限がある状況には変わりありませんが、学生にとっては束の間の息抜きとなったのではないかと思います。



ステージでのダンス披露



クリスマスコンサート(吹奏楽部)



ランプ(デザイン研究部)とイルミネーション



校舎ライトアップ





Tokuyama kosen, I can say that you are the best for me and I have a lot of good memories with you. You come across my life's notebook and I am sure that I cannot erase what you have written. I don't know how I feel about you after 10 years or when I get old. What I know now is that your story will be a nice topic in my conversations and your picture will stay inside of me. That why people say that we should not make a lot of good actions because these actions are the best memories we cannot forget after we are far and these memories will remind us in our lifetime.

## 君の活動は私の思い出になって

土木建築工学科  
サオ サンボ



2017年4月に日本に留学生活が始まりました。徳山工業高等専門学校に入学する前に、1年間東京日本語センターで日本語を勉強していました。日本語学校で勉強している時に、高専でどのような生活になるか、日本人の学生がどのような慣習を持っているのか、学校授業が難しいか優しい、留学生に対する皆さんの考え方などを考えると心配になってしまいました。徳山高専に着いた後、最初に上記の心配をまだ持っていました。しかし、皆さんの笑顔、元気な挨拶、暖かい会話、親切なチューターの援助、サポートしてくれる職員、先生方の優しさなどで上記の心配したことが自動に切れました。徳山高専で留学生としてこの3年間は私にとって土木建築の知識だけでなく、貴重な成長や経験も受けると言えます。高城寮では、助けてくれる事務員、優しい先生と先輩などの存在があるために私にとって幸せな生活を送っていることができ、一番安全な寮だと思います。

## サンボとの3年間

土木建築工学科 留学生チューター  
本廣 一輝



ある長期休暇の部活前でした。橋本先生から「留学生のチューターをやってくれないか」と頼まれました。最初は正直、部活も頑張っていたし、寮生でもあったので、サンボ君のチューターとして機能できる気がしませんでした。英語は必要ないと何となく察していましたが、実際に始業式の日初めて会ってサンボ君の日本語力からも支えられるか不安が大きかったです。しかし、彼自身とても優秀で、僕も少し助けられたりもしていました。CADなどのパソコンシステムの課題のクオリティの高さに驚いたのも記憶に残っています。僕としては3・4年の時の留学生研修旅行で香川や鳥取に訪れた時のサンボ君とのいろんな思い出が忘れられません。5年の時にも行けるのを楽しみにしてたけど行けなかったのも、とても残念ではありましたが、その分、サンボ君とたくさん話せた気がします。学校の課題とかに話だけでなく、普段の些細なことについてのサンボの意見を聞いていくうちに、自分



身もかなり勉強になりました。いろんな話をしたり、いろんなところに行った。そしていっぱい共に学んだ大切な仲間です。僕はもう2年徳山高専で頑張るからサンボも大学で頑張って!!またいろいろ話聞かせてね!

# 退職教職員から

お世話になりました。  
徳山高専バンザイ!!

機械電気工学科/教授 大西 祥作



徳山高専にお世話になり早、丸4年になりました。

私は、高松高専(現香川高専)を卒業後高専生のために新設された技科大の一つである長岡技科大に入学＆卒業後三菱重工業に就職し、原子力プラントの一部である装置や設備類の設計に約35年従事したのち、徳山高専に2017年4月に採用頂きました。

の中で縁があり徳山高専において、教員になり、皆さんと一緒に学校生活をわずか4年ですが過ごし、私の認識は間違いではなかったと確信するに至りました。

紙面の都合で色々なことを語ることはできませんが、最後に皆さんにお願いです。

高専生の強みを武器にこれからますます不透明となる社会を生き抜き、且つ社会に役立つような技術者となれるように何事にも挑戦してください。頑張れ徳山高専!!

約40年前の自分が高専生であったころにはあまり自覚はありませんでしたが、会社に入社した同期の高専卒生やその後入社してきた高専卒生の仕事ぶりを見て、やはり高専卒生は、実践と理論の両方を勉強してきており、ガッツマインドがあり且つ優秀で頼もしい存在であると常々思っていました。

高専生を一括りに評価することは無茶な話ですが、上記のような認識



徳山高専テクノアカデミア技術セミナー(周南市役所)



徳山高専キャリア・デー



徳山高専テクノアカデミア企業見学(不二輸送機工業)





本校の「設計情報工学」プログラムは、日本技術者教育認定機構（JABEE）からの認定を受けています。



本校は、令和元年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構の認証評価を受け、認証評価基準を満たしていると認定されました。平成18年度に同機構による認証評価を得ており、引き続き認定されたものです。

## 高城会は学生の皆さんを応援しています

高城会理事長 機械電気工学科 15期卒 張間 貴史



昨年、高城会は設立40周年を迎えて、この紙面で母校への支援充実をお約束しました。しかしその直後、ニューノーマルな世の中での母校支援とは何か、という問いに直面し、今もその答えは出ていません。

例年支援していたロボコンはオンライン開催となり、高専祭の中止によってホームカミングデーもなくなりました。そんな中、学生主催の「冬の高専祭」に合わせて、それを彩るイルミネーションの形で、卒業生から学生の皆さんへのエールを送らせていただきました。

2020年の年末は、横浜で実物大のガンダムが動き（制御プログラム担当の吉崎航さんは本校卒業生）、周南では徳山高専の純白の校舎が色鮮やかな

光に包まれました。どちらも新しい世の中を予感させる希望の光でした。高城会では、学生の皆さんが夜空に伸びる一筋の光のように、周りを照らしてどこまでも伸びていけるような支援を模索していきます。



## 編集後記

今年度は、コロナ禍によりテレワークやオンライン授業など例年にないことを手探りで行うことが多く、そのため各々の適応力や対応力が問われる一年でした。今年度の高専だよりの構成を決める編集会議はオンラインで行い、私は高専だより編集の責任者を初めて担当しました。例年

行うことは長い間のノウハウや改善により最適化された状態ですが、新しいことを行えば多少の失敗はあります。今年度も皆様の協力で高専だよりを発行できます。最後に、原稿を執筆いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

（高専だより編集委員 力）



---

## 徳山高専だより No.74

---

発 行 総合企画室  
所在地 〒745-8585 山口県周南市学園台  
T E L (0834)29-6200(代表)  
F A X (0834)28-7605(代表)  
印 刷 赤坂印刷株式会社  
発行日 2021年(令和3年)3月10日  
U R L <http://www.tokuyama.ac.jp/>